

梁拾いにおける「外端」「中央」「内端」の判断

梁拾いにおいては、外端・中央・内端を自動判断してリストから情報を取得しています。
その根拠について説明します。

部位	記号	階S	階E	メモ
6	1	2	3	

断面情報

外端

中央

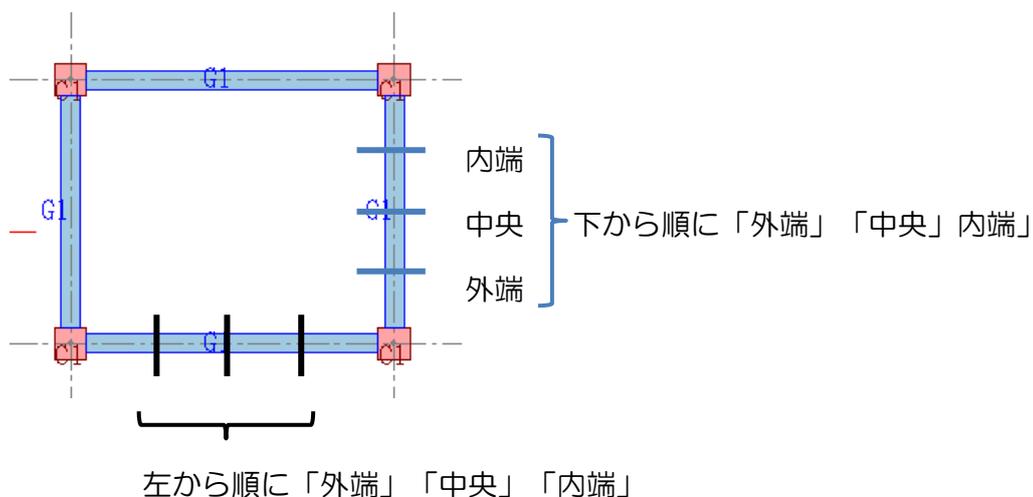
内端

B×D 350 × 650 350 × 650 350 × 650

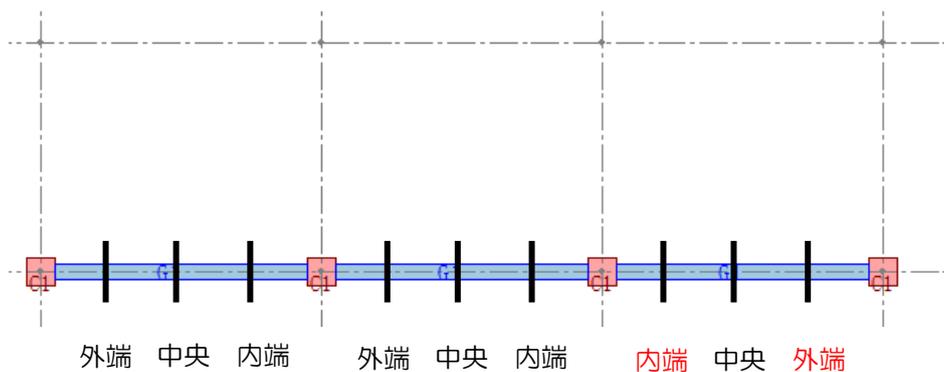
鉄筋情報

主筋1	主筋2			
径	22			
		外端	中央	内端
上端 1段		3	2	4
2段				
下端 2段				
1段		4	3	2

1. 単独梁の場合



2. 連続梁の場合

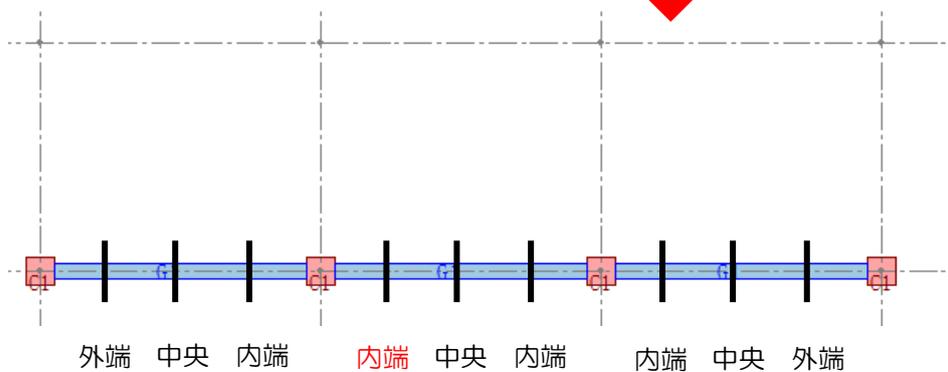
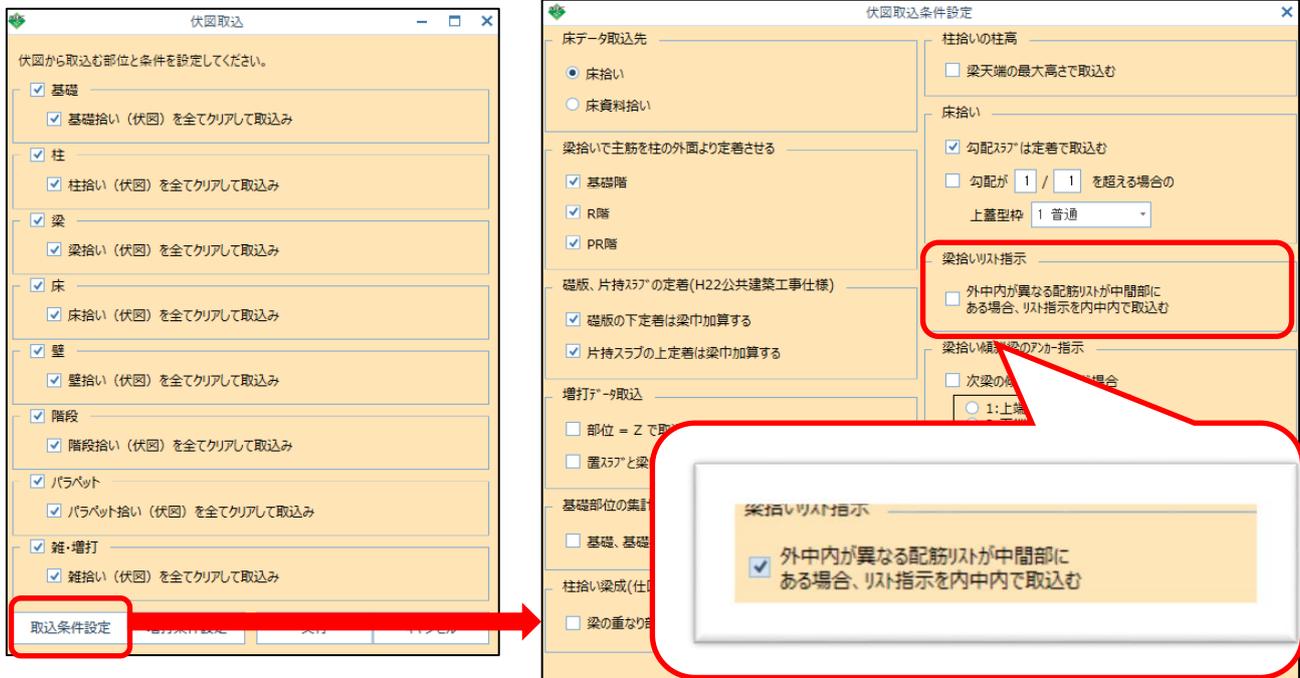


左から順に「外端」「中央」「内端」・・・最後の梁だけが「内端」「中央」「外端」となる

3. 「外端」「中央」「内端」の判断を変更する方法

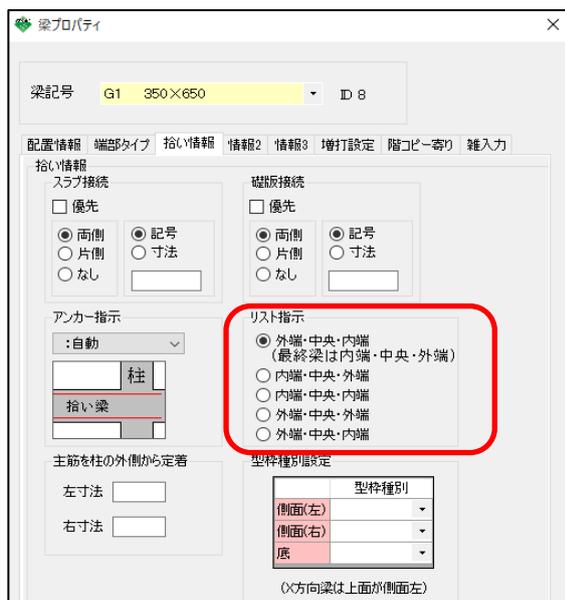
① 伏図取込時に指定する方法

伏図取込時に「取込条件設定」画面で指示することにより、中間梁の配筋を「内端」「中央」「内端」に変更して取り込むことができます。



②梁ごとにプロパティで設定する方法

「拾い情報」タブにある「リスト指示」で梁ごとに個別に変更することができます。



※このプロパティで設定した内容が、上記①の「伏図取込条件設定」で指示した内容よりも優先されます。